

国語

解答注意
問題は全部で三十四問あります。
解答シートへの記入例
①の答えが2のときには
①⇓

2

と記入します。

数字の記入例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○印の部分に注意してください。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「鳳プロダクション」という東京の芸能事務所に勤務する桐絵は、二か月前に福岡で行われたオーディションの後に立ち寄ったライブハウスで、篠崎ミチルという十六歳の少女の歌声を聴いた。この日、桐絵はミチルに会うために、一人で福岡を再訪した。

紅茶と、苺ののった白いケーキが運ばれてくる。エン慮なく食べるようにと勧め、少女がようやく一口頬張ったのを確かめてから、桐絵は本題に入った。

「じつは今日、あなたに会いたかったのはね。あの夜のあなたたちのライブを聴いて、あなたのその声と歌に、ぞっこん惚れこんだからなのよ」ミチルが、口の中のものを飲み下す。

「『鳳プロダクション』っていうのは、芸能界では力のある事務所だね。私はそこで、プロデューサーとかマネージャーの補佐的な仕事をしているの」少しのゴ張はあるが嘘ではなかった。

「毎日テレビに出てるような有名な歌手が、『鳳プロ』にはたくさん所属しているし、新人を発掘して育てることもしていてね。あなたと会ったあの日はちょうど、毎年行われる新人歌手スカウト・キャンペーンの福岡大会が行われた日だったの。もちろん、どの人も頑張って挑戦してくれただけ……」

残念ながらこれはと思える出場者がいなかったのだと、桐絵は打ち明けた。

東京での本選でも、グランプリ受賞者一人きりが目立つ結果となったこと。準グランプリ以下はすっかりかすんでしまったこと。それらを順番に話して聞かせながら、ミチルの表情の変化をひとつも見逃すまいとする。

「東京に帰ってから、くり返し思ったわ。もしもあなたが福岡大会に出場していたら、どうなっていただろうって。きっと勝ち上がっていたし、東京本選での結果だって違っていたかもしれない。今ごろ私たちが総力を挙げて送り出そうとしている新人は、あなただったかもしれない」体を強ばらせ、わずかに欠けたショートケーキを睨むように見つめているミチルに、桐絵は、言った。

「一方的に話してしまっでごめんなさいね。でも、一方的ついでに、もういくつか質問させてほしいの。まず一つめ。あなた、歌手になりたいか？」

少女がはつと顔を上げた。

「どうかしら。なりたいたいと思ったこと、ある？ ない？」

かたちのいい唇が上下に離れ、ト息のようにあの声が漏れる。

② ……ある」

「そう。そうでしょうね」

桐絵は頷いた。予想した通りだった。あれだけ自在に歌えて、それを望まないわけがないのだ。

「じゃあ、二つめの質問。これまで、誰かに歌のレッスンを受けたことは？」

ミチルが首を横にふる。

「一度も？」

「こくん、と頷く。」

「凄いわね。それであれだけ歌えるってことは、そりゃ天性のものもあるにせよ、あなたなりによっぽど一生懸命に練習してきたんじゃないかと思っの。違っ？」

ミチルは黙っている。否定はしない。

「次の質問ね」

桐絵は、息を深く吸い込んだ。思いをこめて訊く。

「歌うことは、好き？」

「——好き！」

ミチルから返ってきた中で、いちばんはつきりとした答えだった。目の輝きからも、まっすぐな気持ちが伝わってくる。

「いいわ。じゃあ、どんなふうが好き？」

「*他の事ばしとう時間ももったいなか、て思っ」

何かをこらえるような、もの狂おしい表情をしている。

「わかった。だったら、もしもよ、もしも、一日中ずーっと歌っていることが許されるんだったら、そうしたい？ 今よりもっとうまくなれるなら、努力してみたいって思っ？」

「思っ」

即答だ。

「そのために、ここを離れて東京へ出る事になっても？」

④ 少女の喉が鳴る。張りつめた目で桐絵を見つめ、はつきりと頷いた。

「よかった。それを聞いて嬉しいわ」

心からほっとして、桐絵は微笑んだ。会社を休み、*自腹を切ってここまで来た甲斐があるというものだ。どんなにこの声に惚れこんでも、本人にその気がなければどうしようもない。こちらから口説き落とすだけでは足りない。他ならぬ当人に、こ
うなりたいという目標と情熱がなければ、この先続くわけがない。

ミチルを探し出し、いざ会ってみても、^⑤一方通行の思いが空回りするだけではないか。歌うことは好きでも、故郷を離れてまで歌手になるん
て夢みたいな話に、ばかばかしくて乗れるわけがないと言われてしまうのではないか。それが心配だった。

けれど、今、目の前に座っている少女の眼は、揺るぐことなくこちらへ注がれている。まるで、桐絵の言葉に必死ですがるかのような、
⑥ なまなざしだ。

「でも……」

ミチルが、初めて自分から口をひらく。

「なあに？ 何でも言ってみて」

「*うちに、才能なんか、本当にあるっちゃろうか」

ミチルの顔はいっそう白くなり、頬だけが熱に浮かされたように紅^④チヨウしている。

^⑦桐絵は、あえて言い切った。

「ありますとも。私が保証するわ。あなたさえ本気で歌っていききたいと思ってくれるなら、私は、そのために必要なことを全部引き受ける。それ
が私の仕事なの」

ミチルはもう、うつむかない。眼の光はますます強さを増している。

(村山由佳『星屑』より)

*他の事ばしとう時間ももったいなか、て思う 他 of 事をしてる時間ももったいな、と思う。

*自腹を切って 自分で費用を負担して。

*うちに、才能なんか、本当にあるっちゃろうか 自分に、才能なんか、本当にあるのだろうか。

問一 傍線部③から④のカタカナの部分に当てはまる漢字を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

①	1	沿	2	延	3	遠	4	援	5	縁	(解答は①の欄)
②	1	己	2	故	3	抛	4	孤	5	誇	(解答は②の欄)
③	1	吐	2	途	3	妬	4	徒	5	渡	(解答は③の欄)
④	1	兆	2	頂	3	潮	4	微	5	彫	(解答は④の欄)

問二 傍線部I「張」の部首と組み合わせ一つの漢字になる語を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 分
 - 2 玄
 - 3 市
 - 4 由
 - 5 平
- (解答は⑤の欄)

問三 傍線部①「ミチルの表情の変化をひとつも見逃すまいとする」とありますが、このときの桐絵の様子として適当なものを、次の中から一つ
選び、番号で答えなさい。

- 1 目の前に座っているミチルの印象がライブを聴いた時とはまったく異なり、困惑している。
 - 2 自分が力のある芸能事務所の人間であることに、ミチルが嫌悪感を抱くことを恐れている。
 - 3 補佐的な仕事しかしていない自分の話を、ミチルが信じてくれるだろうかと心配している。
 - 4 自分の素性をミチルがどのように受け止めているのかを、注意深く感じ取ろうとしている。
 - 5 ミチルにオーディションを受ける意思があるのかを、その反応から見極めようとしている。
- (解答は⑥の欄)

問四 傍線部②「……ある」とありますが、このときのミチルの様子として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑦の欄)

- 1 歌手を目指すなら総力を挙げて面倒を見ると桐絵の言葉を信じ、世話になる決意をしている。
- 2 一方的に話すばかりで自分の話を聞こうともしない桐絵に反発心を抱き、適当に返事をしている。
- 3 一方的に話してくる桐絵の迫力に圧倒され、自分の考えを整理できないまま状況に流されている。
- 4 唐突に歌手になりたいかと質問した桐絵に対し、不自信を抱きながらも自分の思いを伝えている。
- 5 桐絵に対する警戒心はあるものの、歌手になりたいかという桐絵の質問には本心で返答している。

問五 傍線部③「じゃあ、どんなふうが好き?」とありますが、この部分を朗読するとしたらどのように読むとよいですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑧の欄)

- 1 歌うことが好きだというミチルのまっすぐな気持ちに共感している思いが伝わるように、力強い口調で読む。
- 2 歌うことが好きだと明確に答えたミチルの姿を見て安心して伝わるように、明るいついで読む。
- 3 重要な質問であることを意識し、優しく聞いかけながらも真剣な思いが伝わるように、間を置きながら読む。
- 4 ミチルにとって返答が難しい質問であることを意識し、ミチルが話しやすくなるように親しげな口調で読む。
- 5 前向きな姿勢を見せ始めているミチルを一気に口説き落とすことを意識し、まくしたてるような口調で読む。

問六 傍線部④「少女の喉が鳴る」とありますが、このときのミチルはどのような様子だと考えられますか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑨の欄)

- 1 福岡を離れて東京に出ると桐絵の言葉を聞いて、そのことを受け入れる決心をしている。
- 2 福岡を離れて東京に出ると桐絵の言葉を聞いて、話の急な展開に困惑して緊張している。
- 3 福岡を離れて東京に出ると桐絵の言葉に対して、そこまでするべきなのかと疑っている。
- 4 福岡を離れて東京に出ると桐絵の言葉を受けて、福岡から離れることを喜んでる。
- 5 福岡を離れて東京に出ると桐絵の言葉を受けて、早く東京に出て歌いたいと思っている。

問七 傍線部⑤「一方通行の思いが空回りする」とありますが、どのようなことを表現していますか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑩の欄)

- 1 偶然耳にしたミチルの歌声に惚れこんで、福岡まで来たものの、ミチルに会うことができないということ。
- 2 ミチルと口約束を交わしたものの、会社の許可を得ていなかったことで、最終的に無効になるということ。
- 3 ミチルの歌声は天性のものであるものの、具体的な目標や情熱に欠け、一流の歌手になれないということ。
- 4 ミチルの歌声に惚れこんで、私的にスカウトに来たものの、肝心のミチルが乗り気にならないということ。
- 5 歌手になることについてミチルを本気にさせたものの、ミチルの周囲の人の合意が得られないということ。

問八 ⑥ に当てはまる適当な言葉を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑪の欄)

- 1 気丈
- 2 空虚
- 3 好奇
- 4 切実
- 5 露骨

問九 傍線部⑦「桐絵は、あえて言い切った」とありますが、桐絵がそのような理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑫の欄)

- 1 ミチルのスカウトに成功したことをようやく実感でき、肩の荷が下りたから。
- 2 初めて自分の意思を表明したミチルを、前向きな気持ちにさせたかったから。
- 3 ミチルは絶対に歌手になれるという自分の信念を、明確に伝えたかったから。
- 4 これから上京するミチルの心細さを察し、自分の責任の重さを自覚したから。
- 5 歌手になることについての不安を口にしたミチルを、勇気づけたかったから。

問十 本文の表現の特徴として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑬の欄)

- 1 「？」や「！」といった符号を用いることで、人物の思いがすれ違う様子を印象的に表現している。
- 2 会話ごとに変化する登場人物のようすを描写することで、それぞれの心情を場面ごとに表現している。
- 3 一人の人物の視点だけで描写することで、その人物の人物像を想像させるように表現している。
- 4 情景描写を効果的に挿入することで、人物の関係性が劇的に変化する過程を象徴的に表現している。
- 5 第三者の客観的な視点から描くことで、一人の少女が精神的に成長する過程を淡々と表現している。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

もう一度正面から知識人という概念に取り組むことにしましょう。知識人と言われるからには、学問的見識を持つことが、当然の基礎資格の一つだと思えます。しかし、現代における学問の姿は、理工系に限らず、^{ひん}日に分化が進むという状況にあります。例えば、*学術ジャーナルの世界を眺めてみると、世界的に、毎日のように、と言うのがちよつと大げさなら、毎月のように、新しい学術ジャーナルが^⑩カン行されている、という印象があります。一つの学問領域に、学術ジャーナルは原^⑪ソク一つあれば充分なのですが、同じような名称のジャーナルが数多く存在するのが当たり前になっています。

そうなる理由は、一つには、レフェリー制度にあると言われています。レフェリー制度というのは、投稿されてくる論文候補の原稿を、学術ジャーナルの編集部が、しかるべき専門家に依頼して、掲載資格があるかないかを判断させる制度です。多くの場合、複数のレフェリー(査読者と呼ぶことが多い)に依頼して、判断します。文句なく掲載可、という結論から、文句なく掲載不可という結論までの間に、修正場所を指定した小規模な修正で掲載可、というケースもあります。かなり大幅な修正が要求される場合もあります。編集部としては複数のレフェリーの結論がスプリットになる(割れる)ときが最も^⑫悩ましいときになります。その場合は、^⑬さらに別のレフェリーを依頼するなど、色々な解決策が講じられることとなります。

ところで、こうした場面で、^⑭言わば「レフェリー・バイアス(査読者の偏り)」^⑮とでも呼ぶべき現象が起こることがあります。つまり、レフェリーというのは、その学術コミュニティの中心的な学者が選ばれるわけですが、そういう人々が、ある特定の伝統的な研究方向に特化していると、その分野の新しい動向には、あまり関心がなく、ひいては、そういう方向を目指す研究は評価もされないことになりましょう。つまり、新しい動向に向かって研究を進めているような人々の論文候補は、レフェリーが常に拒否するというような事態が生まれます。それに不満を抱く研究者は、同じ学術コミュニティに属しながら、自分たちの研究方向を^⑯是とするような新しい学術ジャーナルを造り、そこに依拠して、論文の発表を進めるわけです。こうしてみると、^⑰レフェリー制度^⑱というの、「お手盛り」の要素が強い、^⑲ということにもなりますが、そうした結果、同じ学術領域にあっても、少しずつ体裁の異なる学術雑誌が^⑳続々と誕生する結果も生まれます。実際、それが高じると、その学問領域はやがてさらに分化してしまうわけですね。

このような力学が働いて、学問分化の傾向は、ほとんど現在の学問的状況の構造からくる必然のようです。学者・研究者は、そういう構造のなかに身を置いているわけです。^㉑英語でよく「compartmentalization(コンパートメント化)」という言葉が使われます。

(中略)

一つのコンパートメントのなかの研究者は、まさに、そのコンパートメントのなかで共有されている問題意識、共有されている概念系、共有され

ている課題解決方法をひたすら学びとり、それを利用して自分の研究を進めるわけで、研究結果も同じ枠組みのなかで得られる、ある意味では当然のものであることになりました。実際、レフェリーも、当該の研究が確実に自分たちが共有している枠組みのなかで行なわれているか、そこから得られた結果も、その枠組みのなかにきちんとならざるものか、という点に専ら評価の基準を立てるわけです。

こうした傾向は、理工系に最も^①ケン著ですが、社会科学系でも、また場合によっては人文系系にあってさえ、見られるようになってきました。こうなると付和雷同という表現は似つかわしくなく、むしろコンパートメント内の認識の公共性とも呼ぶべき事態とも言えましょう。しかし、そうした人々は、研究者・学者ではあっても、知識人と呼べるでしょうか。

例えば、コミュニケーションという点を考えてみましょう。先に述べたような研究環境のなかにいる研究者は、自分のコンパートメントのなかで、同僚とコミュニケーションをするのに、困難は感じないでしょう。なにしろ、自分たちの間では、共有する概念系が同じ、問題意識も同じ、課題解決方法も同じ、II、その範囲のなかで、*「ツ」^②と言えれば必ず「カー」と返ってくるのが期待できるからです。学会などでも、一分間に何十枚ものスライドを見せ、あるいはパワーポイント像を見せて発表しても、誰もあまり文句を言いません。それほど多量なスライドが、通常の人間の認識能力の限界を超えていても、何となくメッセージが伝わることに、演者も、聴衆も仲間内として安心して居るところがあります。

III、こういう研究者に、自分の研究内容を、自分のコンパートメントの外の、言わば素人に説明して貰おうとすると、たちまち、お手上げになります。

私は、知識人という存在が社会的に意味があるとすれば、ここに一つのポイントがあると思っています。先にも書きましたように、知識人である限り、学識を備えていることは基礎資格でしょう。その学識を、たとえ相手が子どもであっても、きちんと伝えることができる能力を持っているければ、知識人の資格はないのでは、と思います。

学会では同僚を相手にして、テレビジョンでは不特定多数、属性も雑多な視聴者を相手にして、大学では、ある程度属性が均一な学生を相手にして、そして、中学校でも、小学校でも、それぞれの相手に対して、自分の考えていることをきちんと伝えられる素^③ヨウを持つていること、それを私たちは知識人に必須の能力であると考えたいのです。それができるといことは、相手の立場に自分を置いてみることもできる、ということとです。今相手にしている人々が、何を面白いと感じるか、何には関心を持ってないか、何が判らないのか、そういったことを、^④鋭く感じ取る能力が必要になります。

(村上陽一郎「知るを学ぶ あらためて学問のすすめ」より。一部省略)

※学術ジャーナル 主に研究者が執筆した論文を掲載する雑誌。学術雑誌。

※是とする 正しいと認める。

※「ツ」と言えれば必ず「カー」と返ってくる 詳しく話さなくても話を通じるほど親密な間柄であることを示す表現。

問一 傍線部①から④のカタカナの部分に当てはまる漢字を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|
| ① | 完 | 2 | 刊 | 3 | 歛 | 4 | 監 | 5 | 卷 | (解答は⑭の欄) |
| ② | 則 | 2 | 束 | 3 | 即 | 4 | 測 | 5 | 促 | (解答は⑮の欄) |
| ③ | 賢 | 2 | 兼 | 3 | 懸 | 4 | 顕 | 5 | 謙 | (解答は⑯の欄) |
| ④ | 養 | 2 | 様 | 3 | 要 | 4 | 揺 | 5 | 擁 | (解答は⑰の欄) |

問二 傍線部I「さらに」の品詞名を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|----|
| 1 | 形容詞 | 2 | 形容動詞 | 3 | 副詞 |
| 4 | 連体詞 | 5 | 接続詞 | | |

(解答は⑱の欄)

問三 傍線部①「レフェリー・バイアス(査読者の偏り)」とも呼ぶべき現象」とありますが、どのような現象ですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑲の欄)

- 1 学術ジャーナルにおいて、一つの学問領域に同じような名称のものが数多く存在するという現象。
- 2 学術ジャーナルにおいて、新しい研究方向を目指す論文候補がまったく掲載されないという現象。
- 3 レフェリー制度において、投稿されてくる論文候補の原稿に大幅な修正が要求されるという現象。
- 4 レフェリー制度において、複数のレフェリーの結論が割れて掲載の判断が難しくなるという現象。
- 5 レフェリー制度において、特定の伝統的な研究方向に特化した論文は評価されにくいという現象。

問四 傍線部②「レフェリー制度」というのも、「お手盛り」の要素が強い」とありますが、筆者はどのようなことを言おうとしているのですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑳の欄)

- 1 レフェリー制度は、一つの学術コミュニティの中心な学者に都合がよいように作られているということ。
- 2 レフェリー制度は、学術ジャーナルの現状に不満を抱いた研究者たちによって作られたものということ。
- 3 レフェリー制度によって、同じ学術コミュニティの内部で研究者たちが対立するようになったということ。
- 4 レフェリー制度が作られた目的の一つは、多種多様な学術ジャーナルを造り出すことであつたということ。
- 5 レフェリー制度を通じて与えられる論文の掲載資格は、客観的な評価に基づいたものではないということ。

問五 傍線部③「続々と誕生する」とありますが、そのような意味を表すことわざとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 枯れ木も山のにぎわい
- 2 まかぬ種は生えぬ
- 3 雨後のたけのこ
- 4 九牛の一毛
- 5 対岸の火事

(解答は②の欄)

問六 傍線部④「英語でよく(compartmentalization) (コンパートメント化) という言葉が使われます」とありますが、本文中での「コンパートメント」はどのような意味だと考えられますか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は②の欄)

- 1 研究を効率的に行っていくために、大規模な学術コミュニティの一部として形成された、専門的なチーム。
- 2 権威的な研究者に同調するのではなく、個々の研究者が自由に振る舞えるようにするための、評価の基準。
- 3 学問領域の分化を避けるために、学術コミュニティの内部で共有されるようになった、研究手法の枠組み。
- 4 研究に関わる各種の要素を、細分化された学問領域の内部で共有する研究者たちから成る、小規模な集団。
- 5 理工系、社会科学系、人文学系の壁を取り払うことで、より実用的な研究を成し遂げようとする取り組み。

問七 傍線部⑤「研究者・学者ではあっても、知識人と呼べるでしょうか」とありますが、筆者がそのように言うのはなぜですか。適当なものを、

次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は③の欄)

- 1 筆者は、社会全体の認識の公共性を正しい方向へと導いていける能力を、知識人の資質の一つだと考えているから。
- 2 筆者は、それぞれの研究環境で同僚とコミュニケーションを行う能力を、知識人の資質の一つだと考えているから。
- 3 筆者は、多様な概念系の学識を取り入れて研究の範囲を拡大する能力を、知識人の資質の一つだと考えているから。
- 4 筆者は、独自の問題意識を持って創造的な課題解決方法を示せる能力を、知識人の資質の一つだと考えているから。
- 5 筆者は、あらゆる他者に対して自分の学識を的確に言語化できる能力を、知識人の資質の一つだと考えているから。

問八

II

III

に当てはまる言葉の組み合わせとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は②の欄)

- 1 II だから III しかし
- 2 II ただし III あるいは
- 3 II たとえば III ところが
- 4 II つまり III したがって
- 5 II なぜなら III または

問九

傍線部⑥「鋭く感じ取る能力が必要になります」とありますが、どのようなことを感じ取らなければならないのですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑤の欄)

- 1 自分の考えのどのような点が間違っているのかということ。
- 2 自分の話を相手がどのように受け止めているかということ。
- 3 どのような属性の人々に対して話をするべきかということ。
- 4 自分の学識にどのような社会的意義があるのかということ。
- 5 相手に関心を持ってもらえるのはどのような話かということ。

問十

本文の内容と合っているものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は②の欄)

- 1 学問的見識を持つことが、知識人の基礎資格の一つではなくなったことは、現代における学問の姿を見れば明らかである。
- 2 学術ジャーナルは一つの学問に一つあれば充分であるという規範を守るために、レフェリー制度は即刻廃止すべきである。
- 3 学術ジャーナルに掲載される論文に間違いがあることは絶対に許されないため、修正なしで論文が掲載されることはない。
- 4 学問領域の分化が加速している現在の状況では、レフェリーの想定する範囲に収まらない結果を示す論文は評価されない。
- 5 学者や研究者は通常の人間の認識能力の限界を超えた人々なので、多量な資料を短時間で見せられても正確に理解できる。

三 次の古文とその現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

(ア) けしからず物毎に祝ふ者ありて、与三郎といふ中間に、^①今宵はつねよりとく宿に帰り休み、明日は早々起きて来り門をたたけ。内より「誰そや」と問ふ時、「福の神にて候」と答へよ。すなはち戸を開けて呼び入れんと、ねんごろにいひ含めてのち、亭主は (イ) 心にかけて、鶏の鳴くと同じやうに起きて門に待ち居けり。

案のごとく戸をたたく。「誰ぞ、誰ぞ」と問ふ。「いや、与三郎」と答ふる。^②無興なかなながら門を開けてより、そこもと火をともし若水を汲み、羹をすゆれども、亭主顔のさま悪しくて、さらに物いはず。^③中間不審に思ひ、つくづく思案するて、宵に^④教へし福の神をうちわすれ、やうやう酒を飲むころに思ひ出し、仰天し、膳をあげ、座敷を立ちさまに、「さらば福の神で御座ある。おいとま申し参らす」と^⑤いうた。

(「醒睡笑」より)

〔現代語訳〕けしからず物毎に祝ふ者がいて、与三郎という使用人に、大晦日の晩にいひ教へけるは、「今宵はつねよりとく宿に帰り休み、明日は早々起きて来り門をたたけ。中から『誰だ』と問う時、『福の神でございます』と答えよ。すぐに戸を開けて中に呼び入れよう」と、念入りに言い聞かせたあと、亭主は心にかけて、鶏が鳴くのと同じくうちに起きて門で待っていた。

予定どおり戸をたたく。「誰だ、誰だ」と問う。「いや、与三郎」と答ふる。無興なかなながら門を開けたのち、そこらに火をともし正月最初の水をくみ、雑煮をこしらえるが、亭主の顔は不機嫌で、まったくものを言わない。中間不審に思ひ、つくづく思案して、昨夜に教えた福の神のことをすっかり忘れ、ようやく酒を飲むころに思ひ出し、はっとして、食事をすませ、座敷を立ちながら、「福の神でございます。これでおいとま申し上げます」といった。

※中間 使用人。

※大晦日 おおみそか。十二月三十一日。

問一 傍線部(ア)・(イ)の文中での意味として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(ア) けしからず物毎に祝ふ者

- 1 不当に様々な祝い事から利益を得る者
- 2 思いがけない幸運に何度も恵まれた者
- 3 並外れて事あるごとに縁起をかつぐ者
- 4 行うべき慣習を一つも行っていない者

(解答は②の欄)

(イ) 心にかへ

- 1 意識して
- 2 心配して
- 3 理解して
- 4 失念して

(解答は③の欄)

問二 傍線部②「いひ教へけるは」を現代仮名遣いに直し平仮名で表したものとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は②の欄)

- 1 いひおしえけるは
- 2 いひおしへけるは
- 3 いいおしえけるは
- 4 いいおしへけるは

問三 傍線部①「今宵はつねよりとく宿に帰り休み、明日は早々起きて来り門をたたけ」とありますが、亭主がそのように命じた理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は③の欄)

- 1 一年間休まず働いてくれた与三郎に感謝して恩を返したかったから。
- 2 明日の早朝に来るはずの福の神をしっかりとてなしたかったから。
- 3 正月早々に与三郎が遅刻してしまうことを何とか避けたかったから。
- 4 一年の始まりに福の神が家を訪れるという寸劇を演じたかったから。

問四 傍線部②「無興なかなかながら」とありますが、亭主は、このときどのような様子でしたか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は③の欄)

- 1 部分的に打ち合わせと異なる与三郎の中途半端な行動に、不満を抱いている。
- 2 自分が起きるよりも遅い時間に家にやってきた与三郎に、あきれ果てている。
- 3 機転のきいた応答ができない与三郎の風流心の乏しさに、深く落胆している。
- 4 門をたたく者が福の神か与三郎かを明確に判別できず、戸惑いを感じている。

問五 傍線部③「中間不審に思ひ」とありますが、中間(与三郎)は、このときどのような気持ちでしたか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は②の欄)

- 1 亭主が不機嫌なのは雑煮の味が悪かったせいだと考え、反省している。
- 2 亭主の不機嫌そうな姿を見て、福の神が来なくなることを恐れている。
- 3 亭主が自分に不機嫌に接してくることが不満で、反発心を抱いている。
- 4 亭主はなぜ不機嫌そうにしているのだろうか、不思議に思っている。

問六 傍線部④「教へし」、傍線部⑤「いうた」の主語の組み合わせとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は③の欄)

1	④	亭主	⑤	亭主
2	④	中間	⑤	中間
3	④	亭主	⑤	中間
4	④	中間	⑤	亭主

問七 本文の内容と合っているものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は③の欄)

- 1 与三郎は酒の勢いで無礼な言動をしましたが、亭主は寛大な心で与三郎を追及しなかった。
- 2 与三郎が失敗を取り返そうとしてみた行動は、結果的に亭主の思惑と正反対のものとなった。
- 3 与三郎が発した思慮の浅い発言は、間接的に亭主の不道德な行いを強く非難するものであった。
- 4 与三郎を軽く扱っていた亭主は、与三郎の正体が福の神であるという真相を見逃してしまった。

令和7年度

氏名

受験番号

東北高等学校 国語一般A 解答シート

一

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
.

二

⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
.

三

㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞
.

令和7年度

氏名

受験番号

東北高等学校 国語一般A 解答シート

一

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
3	5	1	3	2	4	5	3	1	4	4	5	2

二

⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
2	1	4	1	3	2	5	3	4	5	1	2	4

三

㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞
3	1	3	4	1	4	3	2